

今週一枚： 世界最長の海上橋を渡る 2019年3月11日 マカオ-香港間の海上橋から



【全長 55 キロ・世界最長の海上橋。画面のはるか奥が香港となる。（走行するバスの 2 階最前列席から撮影）

前々日の香港からの移動は、真夜中であり、車窓からは、移り行く景色の実体がなく物足りないものだった。そこで帰途は日中とし、珠海から徒歩で国境を抜けマカオに移動、ここから橋に乗ることにした。両イミグレ・ターミナルを海上橋で結ぶシャトルは 2 階建デラックス・バスであった。その 2 階の最前列に席をとる。バスは静かにターミナルを発車し、すぐに洋上へと出る。走行する車の数は予想外に少なく、橋路上に孤独の影を落としながら黙々と走る。道路は時折、大きくそして緩やかに右や左にカーブして、その都度、海面から突きあがる橋げたのアーチ部を見せ、優雅な造形を水面から現す。発車から 20 分くらい過ぎたところで、香港側接続部へ通じるトンネルへ入っていく。そして、香港イミグレターミナル（香港口岸）到着は 45 分くらい経過した時刻であった。中立地帯となる橋から降り、イミグレを通過すれば香港となる。ここから香港国際空港ターミナルビルへは連絡バスで約 10 分。香港市内各地への移動にはバスやタクシーが待つ。ここで、尖沙咀（チムサッチョイ/香港九龍）行きのバスに乗り込み、当夜の宿泊地に向かった。